

# 電子ライターから出火した事例

## 火災概要

防火構造平屋建一般住宅の居室から出火し、同住宅延べ約73㎡のうち約0.5㎡を焼失、その他タンス等収容物を一部焼損した焼損程度「ぼや」の建物火災です。家人が、タンスの裏上部から炎が立ち上がっているのを発見し、水道水を使用して初期消火に成功しました。



出火箇所の状況



発火源となったライター



ふすまの焼損状況

## 原因概要

本件火災の出火原因は、敷居上にあった電子ライターが、ガラス戸を閉めた際に柱とガラス戸に挟まれスイッチが入って点火状態となり、タンスの裏に立て掛けてあった襖に着火したものです。

## 類似火災の防止対策

- 類似した火災例**
- (1) 物入れとして壁面に設置されている棚内に置いてあった電子ライターが、片開きの扉を閉めた際に本などと接触したためスイッチが入って点火状態となり、内部の伝票類に着火した。
  - (2) 車の座席シートを電動で動かし調整する場合や、男性が運転した後に女性が運転する時は座席を動かして座席シートを手動調整するが、この時にズボンのポケットから落ちていた電子ライターが挟まって座席シートに着火した。

以上のように、本件火災以外でも、電子ライターが無意識の行動によってスイッチが入り点火状態となった火災が発生しています。

こうした火災を防ぐためには、**電子ライターの取扱いや管理について注意する必要があります。**また、子供の手の届かない所に保管することも「火遊び」を防ぐ手立ての一つです。